

## 1 はじめに

これは、HIVと共に生きる人（以下、HIV陽性者）に対して、サービスを提供する人のために作成したガイドブックです。医療従事者をはじめとした専門家がHIVに関連したニーズについて理解を深め、イギリスに住むHIV陽性者に対するサービスを向上させることがこのガイドブックの目的です。

公的機関はHIV陽性者が抱える数多くのニーズに応える義務があります。このガイドは、それらのニーズを幅広く理解するためのものです。公的機関のみならず、あらゆる分野で保健医療や福祉サービスを提供する人にもご利用いただけます。

過去20年間でHIV陽性者のニーズはかなり変化しました。多剤併用療法<sup>1)</sup>（以下、併用療法）が始まったことにより、HIVの流行だけでなくHIV陽性であるという経験もまた大きな影響を受けました。それでもHIV陽性者は現在もなお難しい状況を抱えています。HIV感染を告知された人は誰でも、様々な壁——医療面、経済面、社会面——に直面し、それらの障壁から様々な影響を受けます。

HIV陽性者の抱えるニーズは多様であり、そのためにサービス提供者にとっては常に「聞く」というスキルが重要となります。聞いた内容について、幅広い理解をすることが求められます。それを可能とするために、このガイドではイギ

リスに住むHIV陽性者が抱える広範囲にわたる基本的ニーズを紹介します。

このガイドはこれまでの研究成果およびHIV陽性者との直接面談にもとづいて作成しています。HIVに関する様々なニーズをできるだけわかりやすく紹介しています。

このガイドは、HIV関連のサービスを企画するためのツールではありません。そのための情報資源は別に入手できます。<sup>1)</sup> このガイドの目的は、あくまでもHIV陽性者が日々直面する特徴的な問題に焦点を当て、多様なニーズを説明することです。「サービス」ではなく「ニーズ」に焦点を当てたこのガイドは、サービス提供者のためのハウツーにはなりませんが、日常業務で難しい選択をしなければならない時の基礎的な材料となるでしょう。

表1. HIV陽性者の抱えるニーズおよびニーズを生み出しニーズに影響する諸問題

主なニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ からだの健康</li> <li>・ こころの健康</li> <li>・ 住まいと安全</li> <li>・ 栄養</li> <li>・ 休養</li> <li>・ 移動</li> <li>・ 経済的な安定と自立</li> <li>・ 自信</li> <li>・ 対人関係と友人関係</li> <li>・ セックスと性の健康</li> <li>・ こどもと家族の生活</li> <li>・ 教育、スキル、雇用</li> <li>・ 生活の質</li> </ul>
主な問題と難しさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 症状、痛み、薬の副作用</li> <li>・ 不確かな先行きと不安</li> <li>・ 絶望、抑うつ、こころの病気</li> <li>・ エネルギーの欠如</li> <li>・ 否定的な自己イメージ</li> <li>・ HIV感染を知らせること</li> <li>・ 死別と別離</li> <li>・ 孤立と孤独</li> <li>・ 差別と不平等</li> <li>・ 貧困</li> <li>・ 劣悪な住居と生活環境</li> <li>・ 移住と難民問題</li> <li>・ 他人への感染と他の病気への感染</li> <li>・ 性機能の障害</li> <li>・ サービス</li> <li>・ 専門家</li> <li>・ 治療の選択と服薬</li> </ul>
派生する主なニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービスに対する知識</li> <li>・ サービスを受けるための自信、スキル、情報</li> <li>・ 専門家と付き合うための自信とスキル</li> <li>・ HIVの治療とケアを選択するための知識と理解</li> <li>・ 治療を継続するためのスキル、動機、自己管理</li> </ul>